



## 「ただいま」「おかえり」って言いあえるまちに

当たり前と思っていた「ふだんの暮らし」を揺さぶっているCOVID19。

今や、どこにいても何をしても、いつだってだれだって感染のリスクはゼロではありません。感染拡大を防ぐためには、さらなる「行動変容」が必要になると同時に、だれもが、少しでも心のびやかに暮らせるようなまちのあり方が、今こそ問われているのかもしれない。ウイルス感染拡大阻止は、もちろん大事です。経済対策も大事です。でももう

ひとつ、忘れてはならないことは、たとえウイルスに感染してしまっても

地域の中で笑顔の暮らしを取り戻せるということの大切さです。

感染された方々だけでなく、医療従事者の方、宅配業者の方など

わたしたちの暮らしを守るために日々奮闘しておられる方々への感謝も込めて

「ただいま」「おかえり」って言いあえる ひとの輪を ここ城南区から。



シトラスリボン運動は、4月に「ちょびっと19+」という愛媛県の市民グループが開始しました。

「地域」「家庭」「職場（または学校）」を象徴する3つの輪のシトラス（かんきつ類）カラーをイメージしたリボンのマークをシンボルにして、コロナ差別反対を訴えます。

### あなたはどう思いますか？

- ? 感染者が出た家族が、近所や小学校から拒否され引っ越しを余儀なくされた
- ? ある会社員が「奥さんが看護師を辞めないなら会社を辞めてくれ」と言われた
- ? 宅配の人が玄関先でいきなり消毒液をかけられた
- ? 医療従事者の子どもの受け入れを保育園から拒否された

悪いのはコロナで 人じゃない!



想像してみてください。あなたの大切な人がコロナに感染したら

あなたは愛する人を 排除しますか？

